

大分市の住民登録人口

人 口	294,092人	(+509)
男	142,694人	(+286)
女	151,398人	(+223)
世帯数	88,192人	(+82)

毎月1日・15日発行

おおいた

市報

第652号

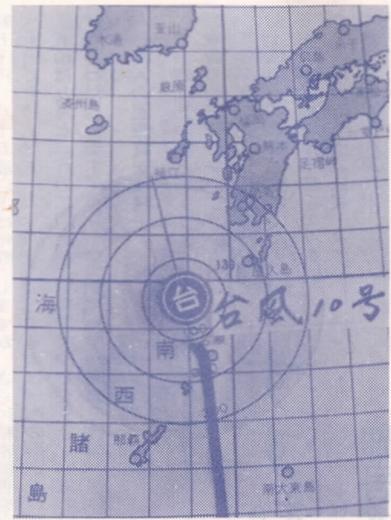
昭和48年

9月1日

発行所
大分市役所
編集兼発行人
大分市役所代表者
橋本文治
印刷所 三恵印刷株式会社
(全世帯無料配布)

9月1日
は防災の日
防災対策は万全に

心がけたい平素の準備



九月一日は「防災の日」。暦の上では二百十日あたり、台風の襲来の最も多い時期です。すでに八月二十日までに台風は十号が発生しています。

そこで今回は台風に備える方法などを中心に災害に対する避難方法をまとめてみました。

家庭での話題に取り上げてご家庭みんなで防災対策を話し合っていかがでしょうか。

▽洪水や高潮の警報、避難命令等がどのように伝達されるか確認をおこなっておきましょう。

▽災害時に隣近所の人と協力して避難などができるよう事前に話し合っておく。

▽台風に備えての平素の心得

△停電に備えて携帯電灯、ロープ、ソク、トランジスターラジオなどを用意しておく。

△安全な避難場所とそこへの道順を確認しておく。

△被害を受けるおそれのある地域に住んでいる人は避難の準備をして次のものを使い、非常袋に入れておく。

△食料と飲料水(ロープや袋)、下着など

の着替え、トランジスターラジオ、携帯電話、ロープ、マッチ、○医薬品。

△家具や扉などの補修をし溝や下水は流れをよくしておく。

△風で折れたり電線にぶれるおそれのある木の枝を切り落す。

△洪水や高潮の警報、避難命令等がどのように伝達されるか確認をおこなっておきましょう。

△風で折れたり電線にぶれるおそれのある木の枝を切り落す。

△家具や扉などの補修をし溝や下水は流れをよくしておく。

△崖地の付近の人々大雨が続くと地盤がゆるみ崖くずれの危険がある程度十分注意する。

△河川や海岸近くに住んでいる人は川の水かさや高潮、波浪に注意する。

△崖地の付近の人々大雨が続くと地盤がゆるみ崖くずれの危険がある程度十分注意する。

△火の始末や戸締りを確実にする。

△家庭そろって消防、警察など防災関係者の指示に従って避難する。

△火の始末や戸締りを確実にする。

△老人、幼児、病人等のいる家庭では早めに避難する。

△服装は行動しやすいものとし、服装は行動しやすいものとし、

△被服は行動しやすいものとし、服装は行動しやすいものとし、



いつまでもお元気でおしあわせに 9月15日は敬老の日

楽しい行事やサービスがいっぱい 老人福祉週間（9月15日～21日）

九月十五日は敬老の日です。長い人生の中のためにつくしてこられたおとしよりに感謝し、長寿をお祝いする日です。

この敬老の日から九月二十一日までは「老人福祉週間」となっています。

市では老人に対する敬愛思想を高め、福祉の増進を目的としていろいろな行事を行ない長寿をお祝いする

な期間中は市民各層のご協力で七十歳以上の方を対象として各種の行事や奉仕等が行なわれますので、自治委員を通じてお届けする「黄色いリボン」を胸につけてください。

長寿者への祝福訪問

孝養者を表彰

老人にサービス

「北原人形芝居」で

保育料はすえおき

市内認可保育所一覧

「大会会場」（文化会館）で、「孝養者」の表彰を行ないます。

八十九歳以上の高齢者のお宅を市長が訪問して記念品を贈りお祝いします。

夫婦とも八十歳以上の方と、八十九歳以上の高齢者をお祝いします。

現在夫婦とも八十歳以上の方は八十一組八十九歳以上の高齢者は三百二人です。最高齢者は

滝尾の片山與五郎さんで九十九歳十一ヶ月です。

七歳（喜寿）の方および八十八歳（采寿）の方に自治委員さんを通じて記念品を贈ります。

黄色いリボンをつけた七十歳以上の方にはつきのようなサービスがあります。

「北原人形芝居」で、黄色いリボンをつけた七十歳以上の方にはつきのようなサービスがあります。

サーカス活動で 励ましあう老人ホーム

市では六十五歳以上のおとしよりを収容する養護老人ホームがあります。

この施設には六十五歳以上で清心園が南下郡にあります。

この施設には六十五歳以上で身体などの著しい障害のある人を保護しています。

ト造りのモダンな建物です。

このほかに市内には、特別養

道などを通じて、慰めあい励ま

してくらています。

このほかに市内には、特別養

道などを通じて、慰めあい励ま

してくらっています。

このほか

